

# がんの早期発見テーマに まちなかキャンパス



参加者の質問に答える小濱氏

23日、前橋商工会議所は2月  
スの一環として、前橋プ  
ラザ元気21で「がんの早

期発見」を実施、約40  
人が参加した。医療法人  
真木会の真木俊次会長  
が「誰でも受けられる！  
PETによる早期発見検  
査」、群馬大学名誉教授  
の小濱一弘氏が「新開  
発！アミノインデックス  
がんリスクスクリーニン

グ」のテーマでそれぞれ  
講演した。  
真木会長はPETのメ  
リットとして、一度の  
検査で全身をチェックで  
き、苦痛がなく短時間で  
終了すること、細胞の活  
動状態を画像で見られる  
点などを挙げ、がんの早

も多く、転移や再発の有  
無を知るのに有効な検査  
は何かなどの質問が寄せ  
られた。夫婦で訪れた70  
代の男性は「PETやリ  
スクスクリーニングも、  
それほど高額ではないと  
分かったので、ぜひ検査  
してみたい」と話してい  
た。  
(山田誠一)

2015.3.5  
ぐんま経済新聞

期発見や転移・再発の診  
断に有効だと指摘した。  
小濱氏は「がんは早期  
発見すれば治る病気にな  
った」と述べ、「だから  
こそ、早期発見が重要に  
なった」と語る。早期発  
見の検査方法として、最  
新の検査方法であるアミ  
ノインデックスがんリ  
スクスクリーニングを解  
説。

同検査について「血液  
を採るだけで、アミノ酸  
の収支（摂取、代謝、排  
出）状況によって、がん  
のリスクが分かる。リス  
クがあると診断されたな  
らば、本格的検査が必要  
になる」と述べた。